

付 編

1. 岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの内部規程

(1) 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規程

〔平成16年4月1日〕
〔岡大規程第93号〕

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人岡山大学管理学則（平成16年岡大規則第1号。以下「管理学則」という。）第26条の規定に基づき、管理学則第21条の規定により学内共同利用施設として置かれる岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、岡山大学（以下「本学」という。）の敷地内の埋蔵文化財について、次の各号に掲げる業務を行い、もって埋蔵文化財の保護を図ることを目的とする。

- 一 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- 二 発掘された埋蔵文化財の整理及び保存に関すること。
- 三 埋蔵文化財の発掘調査報告書の作成等に関すること。
- 四 その他埋蔵文化財の保護に関する重要な事項。

(自己評価等)

第3条 センターは、センターに係る自己点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

- 2 前項の自己評価については、本学の職員以外の者による検証を受けることを原則とする。

(教育研究等の状況の公表)

第4条 センターは、教育研究及び組織運営の状況等について、定期的に公表する。

(センター長)

第5条 センターにセンター長を置く。

- 2 センター長は、国立大学法人岡山大学役員規則（平成16年岡大規則第3号）第5条第1項第5号に規定する財務・施設担当理事をもって充てる。
- 3 センター長は、センターを代表し、その業務を総括する。

(副センター長)

第6条 センターに副センター長を置く。

- 2 副センター長は専門的知識を有する本学の教授のうちから学長が任命する。
- 3 副センター長は、センター長の職務を助ける。
- 4 副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(調査研究室)

第7条 センターにセンターの業務を処理するため調査研究室を置く。

- 2 調査研究室に室長、調査研究員及びその他の必要な職員を置く。
- 3 室長は、専門的知識を有する本学の教員のうちからセンター長が命ずる。
- 4 室長は、センター長の命を受け、センターの業務を処理する。
- 5 室長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 6 調査研究員及びその他の職員は、上司の命を受け、センターの業務に従事する。

(調査研究専門委員)

第8条 センターに、センターの業務のうち特に専門的な事項についての調査研究の推進を図るため、調査研究専門委員（以下「専門委員」という。）を置く。

- 2 専門委員は、本学の教員のうちからセンター長が命ずる。
- 3 専門委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(管理運営の基本方針等)

第9条 センターの管理運営の基本方針等は、役員会で審議する。

(運営委員会)

第10条 センターに、センターの運営に関する具体的な事項を審議するため、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

(事務)

第11条 センターの事務は、施設企画部施設企画課において処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、センターに関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(2) 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会内規

〔平成16年4月1日〕
〔学 長 裁 定〕

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規程（平成16年岡大規程第93号）第10条第2項の規定に基づき、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 運営委員会は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（以下「センター」という。）の運営に関する具体的な事項を審議する。

(組織)

第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 埋蔵文化財調査研究センター長（以下「センター長」という。）
- 二 埋蔵文化財調査研究センター副センター長
- 三 岡山大学の教授のうちからセンター長の命じた者若干名
- 四 センターの調査研究専門委員のうちからセンター長の命じた者1人
- 五 センターの調査研究室長
- 六 施設企画部長

2 前項第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときには、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(事務)

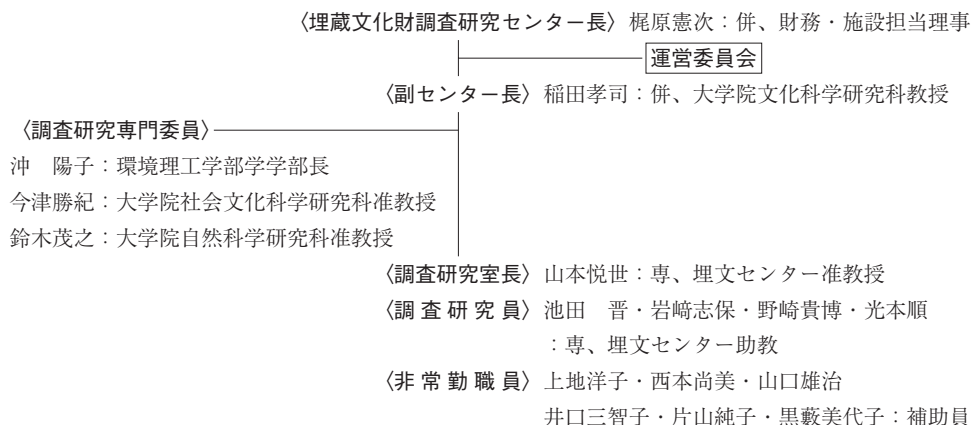
第6条 運営委員会の事務は、施設企画部施設企画課において処理する。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

2. 2007年度岡山大学埋蔵文化財調査研究センター組織

(1) センター組織



(2) 運営委員会

【委員】

梶原憲次	財務・施設担当理事（センター長）	柴田次夫	大学院自然科学研究科教授
稲田孝司	大学院社会文化科学研究科教授（副センター長）	沖 陽子	環境理工学部学学部長（調査研究専門委員）
新納 泉	大学院社会文化科学研究科教授	山本悦世	埋蔵文化財調査研究センター准教授（調査研究室長）
久野修義	大学院社会文化科学研究科教授	入江良広	施設企画部長
大塚愛二	大学院医歯薬学総合研究科教授		

【2006年度協議・報告事項】

第62回2007年 9 月27日	協議事項	・平成18年度決算について
	報告事項	・平成19年度予算について ・20周年記念展示会について ・発掘調査について
第63回2008年 2 月19日	協議事項	・平成20年度予算（案）について ・人事について
	報告事項	・平成20年度埋蔵文化財調査研究センター事業計画について

3. 岡山大学構内遺跡の発掘調査にかかわる安全管理事項

岡山大学構内遺跡の発掘調査にかかわる安全管理事項

平成12年 5 月15日
埋蔵文化財調査研究センター長
施設部長

I. 請負業者が留意すべき事項

1. 請負業者は現場代理人を発掘作業の現場に常駐させ、作業員の安全と健康の管理につとめること。
2. 発掘作業の現場に「地山掘削」と「土止め支保工」の技能講習修了者をおき、作業員の安全や健康にも注意すること。
3. 工事用電力の保安責任者をおくこと。
4. 非常停止装置を備えたベルトコンベアーを用いること。

5. 重機の運転は、免許所有者がおこなうよう厳守させること。

Ⅱ. 発掘現場で注意すべき事項

1. 服装・装備・用具等

- 1) 安全で機能的な服装にする。
- 2) 平坦面から2m以上の穴等を掘削する場合は、ヘルメットを着用する。
- 3) ベルトコンベアーの移動時および周辺での作業の際には、ヘルメットを着用する。
- 4) グラインダーを使用する際は、手袋・防護眼鏡を着用する。
- 5) スコップ・草削りなどの用具は、危険がないように使用方法や置き方や保管方法に十分注意する。

2. 掘削

1) のり面の角度

造成土：通常の土壌の場合は50～60度とし、これを確保できない場合は土止め等の手当をおこなう。砂地の造成土の場合は35度とし、これを確保できない場合は土止め等の手当をおこなう。

堆積土：基本75度とし、状況や土質に応じて安全な角度をとる。

発掘区の壁際を深さ1.5m以上掘削する場合は、原則として途中で段を設ける。その場合の段の中は、60cm以上とする。

2) のり面の保護

のり面はシート等で覆うなどし、崩落防止のために必要な保護措置をとる。

3) 深い遺構（深さ1.5m以上の遺構）

遺構掘削者以外の者が上面で安全確認を行い、十分な注意を払う。場合によっては周囲を広くカットして対応する。

なお、作業現場内への昇降のために、階段を設置する。

3. 高所（高さ2m以上の場所）での作業

- 1) 作業中には安全帯を使用する。
- 2) 架台を組んだ場合は最上段に手すりを設け、安全を確保する。
- 3) 2段以上の架台は、分解して移動させる。

4. 発掘用機械類の操作

（ベルトコンベアー・ポンプ等）

- 1) 調査用電源の設置と取扱いについては、工事用電力の保安責任者が安全確認を行う。
- 2) ベルトコンベアー・水中ポンプ等の知識を持つ者が整備・稼働させる。
- 3) ベルトコンベアーを重ねたつなぎ目の部分には、なるべく土が落ちないように措置をする。
- 4) 原則としてベルトコンベアーの直下での作業・通行を避ける。
- 5) ベルトコンベアーの移動時は作業員の中で指揮者を決め、周辺の安全性を確保したうえで移動させる。

（重機関係）

- 1) 重機の免許所有者以外は運転しない。
- 2) 運転者は、周囲の安全に注意する。
- 3) 稼働中は、重機の旋回半径内に立ち入らない。

5. 健康管理

- 1) 作業中に体調が悪くなった場合は直ちに申し出る。

Ⅲ. その他

- 1) 作業現場内の状況の変化に絶えず注意し、異常を発見したら、直ちに作業を中止して現場代理人に報告し、施設部の監督職員の指示を受ける。
- 2) 調査区の状況や遺構などの特殊性・重要性等により、上記の2の1)～3)どおりに発掘作業を実施することが困難な場合は、現場代理人が監督職員と協議のうえ、安全に留意し作業を行う。

付 編

付 表

付表 1 1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）

年度	地 区 名	種類	所属	調 査 名 称	調 査 組 織	調査面積 (㎡)	文献	備 考	
1980	鹿 田		立会	菌	同附属病院棟新営	岡山市教育委員会	8		
1981	津島南	BD26	〃	農	寄宿舎新営	〃			
	津島北		〃	文法	合併処理槽施設	〃			
	津島北		〃	文法経	合併処理槽施設	〃			
	津島南	BD09、 BC09～11	〃		基幹整備（共同溝取付）	〃			
	津島南	BD～BE04～ 07	〃		陸上競技場改修（配水管施設）	〃			
	鹿 田		〃	医病	高気圧治療室新営	〃			
	〃		〃	〃	動物実験棟新営	〃 岡山県教育委員会		大学が市教委への確認調査の依頼をせずに掘削。その後、岡山市・岡山県教委が残存壁面等の調査を実施	
	〃		〃	〃	病理解剖体臓器処理保管庫新営	岡山市教育委員会			
	〃		〃	医	運動場改修	〃			
1982	津 島	AV06・10、 AW05・14、 AX08、BD07、 BE10	試掘		排水基幹整備	〃		津島AW14区で弥生時代包含層確認、協議→津島岡大遺跡第1次調査へ	
	津島北	AW14	発掘	法文	排水集中槽（NP－1）埋設	岡山大学	24.0	3	小橋法目黒遺跡：津島岡大第1次調査
	津島南		試掘	学	武道館新営	岡山市教育委員会	2.3		
	津島北	AY15・16	〃	法経	校舎新営	〃	7.0		
	鹿 田		〃	医	標本保存庫新営	岡山県教育委員会	8.0		
	〃		〃	医病	外来診療棟新営	〃 岡山市教育委員会	4.0	2	
	〃		立会	医	動物実験施設関連排水管・ガス管理設	岡山県教育委員会		1	
	鹿 田	AE～AN22、 AE22～26	〃	菌	電話ケーブル埋設	〃 岡山市教育委員会 岡山大学埋蔵文化財調査室			

文献
1. 光永真一 1983『岡山大学医学部附属病院動物実験施設新営工事に伴う排水管付設工事に伴う立会調査』『岡山県埋蔵文化財報告』13 岡山県教育委員会
2. 河本 清 1983『岡山大学医学部附属病院外来診療棟改築に伴う確認調査』『岡山県埋蔵文化財報告』13 岡山県教育委員会
3. 古留秀敏 1985『岡山大学津島地区小橋法目黒遺跡（AW14区）の発掘調査』岡山大学構内遺跡発掘調査報告第1集 岡山大学埋蔵文化財調査室

付表 2 2006年度以前の構内主要調査（1983～2006年度）

*凡例 ・総合番号：調査の地区別通し番号（立会調査は選択的に保存） 津島岡大遺跡第1次調査は本機関設置以前の調査であることから、総合番号を※1として区別している。 発掘調査には番号に○を付している。 確認調査のうち、その後の発掘調査範囲内に入った場合は、範囲内の番号記載を省き、全てが範囲内に含まれた場合には総合番号に（ ）を付している。 立会調査で、付表に保存する基準：①中世土層以下を確認した調査 ②明確な遺構・遺物を確認した調査 ・番号：年度別報告番号 ・文献：付表4・5の番号に対応する。								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

付表 2－(1) 発掘調査

<津島地区：津島岡大遺跡>

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調 査 名 称	調 査 期 間	面積 (㎡)	概 要	文献
*1	1982	－	AW14	文	小橋法目黒遺跡（津島岡大遺跡第1次調査） ：排水集中槽（NP-1）埋設	82.10.28～11.24	24	弥生時代中期・古代溝	3
①	1983	11	BE14・18、 BF17・18、BG14 BH14・15	農	津島岡大遺跡第2次調査 ：排水管理設	84.1.9～3.5	265	弥生時代早～前期集落	4
②	1983	12	BH13	農	津島岡大遺跡第2次調査 ：合併処理槽埋設	11.14～11.22 84.1.9～3.5	276	弥生時代早～前期水田関連遺構（溝他）	4
⑮	1986 1987	2 1	AV00、AW00-01	学	津島岡大遺跡第3次調査 ：男子学生寮	12.1～87.6.18、 8.24～9.5	1550	縄文時代後期～弥生時代早期の貯蔵穴と河道および集落、弥生時代の前期～近代の水田・溝、古代の条里関連溝	19
⑯	1986	3	BF・BG09	学	津島岡大遺跡第4次調査 ：屋内運動場	87.1.19～1.22	70	弥生時代前期の溝、中世河道	6
㉔	1988	1	AY06～08、 AZ06-07	大自	津島岡大遺跡第5次調査 ：自然科学研究科棟	6.27～89.3.19	1537	縄文時代後期・弥生時代早期の貯蔵穴と河道・弥生時代末～近世の水田関連遺構	27
㉔	1988 1989	2 1	AV・AW04-05	工	津島岡大遺跡第6次調査 ：生物応用工学科棟	9.20～89.5.31	600	縄文時代後期の貯蔵穴と河道、古代条里関連溝、弥生時代前期～近世の水田・溝	35
㉔	1988	3	AV・AW05-06	工	津島岡大遺跡第7次調査 ：情報工学科棟	10.12～89.3.31	800	縄文後期集落、弥生時代前期～近世水田	35

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調 査 名 称	調 査 期 間	面積 (㎡)	概 要	文献
㉔	1990	1	AY・AZ08	大自	津島岡大遺跡第5次調査 ：自然科学研究科棟	4.3～4.21	90	古墳時代後期の溝	27
㉕	1991	2	BD18・19	農・薬	津島岡大遺跡第8次調査（A地点） ：遺伝子実験施設	7.23～12.25	650	縄文時代の土坑、弥生時代～近世の溝	32
㉖	1991	3	BH13	農・薬	津島岡大遺跡第8次調査（B地点） ：合併処理槽	7.23～12.2	140	弥生時代溝、古代～近世水田	32
㉗	1992	1	AU～AW04	工	津島岡大遺跡第9次調査 ：生体機能応用工学科学棟	7.1～93.1.29	650	縄文時代後期の貯蔵穴と河道、弥生時代～近世の水田址	47
㉘	1992 1993	2 1	BB～BC10～11	保	津島岡大遺跡第10次調査 ：保健管理センター	93.2.1～3.31、 4.17～7.31	400	弥生時代後期～古墳時代集落、近世耕作 関連遺構	64
㉙	1993	2	AV～AW11～12	情	津島岡大遺跡第11次調査 ：総合情報処理センター	9.14～94.1.11	640	縄文後期遺構	36
㉚	1993 1994	3 1	AV～AW13～14	図	津島岡大遺跡第12次調査 ：図書館	94.2.9～3.31、 4.1～11.30	1472	弥生時代前期水田、弥生時代中期～ 古墳時代溝、古代～近世溝（条里関連）	64
㉛	1994 1995	2 1	AW～AX11～12	事	津島岡大遺跡第13次調査 ：福利厚生施設北棟	10.6～11.30、 95.7.10～10.4	816	縄文時代後期ビット、弥生時代水田、弥 生～古墳時代溝、近代耕作面	41
㉜	1995	2	BB～BC12・13	事	津島岡大遺跡第14次調査 ：福利厚生施設南棟	10.25～96.2.14	856	弥生時代前期水田、弥生～古墳時代の溝	46
㉝	1995 1996	3 1	AW00・01	サ	津島岡大遺跡第15次調査：サテラ イトベンチャービジネスラボラト リー	96.1.16～4.25	1600	縄文時代後期・弥生時代早期の貯蔵穴と 河道、縄文時代後期集落、弥生時代前期 水田、古墳～中世水田・溝	38 72
㉞	1996	2	BD19～20	農 業	津島岡大遺跡第16次調査 ：動物実験棟新営	96.5.7～15	30.3	A地点：縄文時代と古墳時代の土坑、 B地点：中世の溝、古代の柱穴列、弥生 時代の水田	44
㉟	1996	3	AW02～04	環	津島岡大遺跡第17次調査 ：環境理工学部新営	96.5.21～1.9	1451	縄文時代後期の集落、弥生時代の溝・水 田、古代の水田	44
㊱	1998	2	BB11	事	津島岡大遺跡第18次調査：福利施 設（南）新営に伴うポンプ槽取設	98.4.7～4.10	16	古代の溝状遺構	53
㊲	1998	3	AZ09・10	理	津島岡大遺跡第19次調査 ：コラボレーションセンター	98.7.27～99.2.18	1019	縄文後期遺構、弥生前期の河道、古墳時 代・中世の溝、近世道路状遺構・溝	65
㊳	1998	5	AY07	環	津島岡大遺跡第20次調査：校舎（Ⅰ期） 新営に伴うポンプ槽取設	98.10.19～28	16	黒色土上面に溝、中世溝	53
㊴	1998	6	AX09	工	津島岡大遺跡第21次調査 ：エレベーター設置	98.11.6～24	30.2	縄文時代中期土坑、弥生時代早期～前期 溝、古代土坑・溝	65
㊵	1998 1999	8 2	AW02・03	環	津島岡大遺跡第22次調査 ：校舎（Ⅱ期）	1999.3.1～7.12	773.5	縄文後期河道・集落、弥生時代河道・水 田畦畔、古墳時代溝、古代～近世溝（条 里関連）・水田畦畔	53
㊶	1999 2000	5 1	AZ15・BA14	大文	津島岡大遺跡第23次調査 ：総合研究棟	00.2.3～7.28	1339	縄文時代後期河道・杭列、弥生前期河道・ 堰・溝、弥生中期～近世溝	56
㊷	2000	3	AZ14	大文	津島岡大遺跡第24次調査 ：総合研究棟渡り廊下建設	00.12.5～14	34.2	縄文時代後期河道・杭列	61
㊸	2000	4	BA15	農	津島岡大遺跡第25次調査 ：散水施設設置	01.1.29～31	20.0	中世～近世の溝・杭	61
㊹	2000 2001	5 1	BC～BD14～15	事	津島岡大遺跡第26次調査 ：事務局	01.3.26～9.30	1550	縄文～弥生時代の河道・貯蔵穴・土坑・ 炉、近世の溝・堰	56 61
㊺	2001 2002	2 1	BB～BC14～15	－	津島岡大遺跡第27次調査 ：創立50周年記念会館	02.2.1～6.24	1648	縄文時代後期の埴、弥生時代・古墳時代 の溝、中世の畦畔（条里関連）	66 68
㊻	2002	2	AW～AY06～08	大自	津島岡大遺跡第28次調査 ：自然科学系総合研究棟	4.30～9.20、 11.28～03.1.15	1798	弥生時代前期の畦畔、中世～古代の畝・ 溝	71
㊼	2002	4	BF16	農	津島岡大遺跡第29次調査 ：共同溝	02.9.18～10.3	62.6	弥生～古墳時代の溝・ビット	71

＜鹿田地区：鹿田遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調 査 名 称	調 査 期 間	面積 (㎡)	概 要	文献
①	1983 1984	9	AU～BD28～40	医病	鹿田遺跡第1次調査：外来診療棟	7.27～11.22 84.1.9～8.31	2188	弥生時代中期後半～中世集落	7
②	1983	10	BG～BI18～21	医病	鹿田遺跡第2次調査：NMR-CT室	8.1～12.30	176	弥生時代後期～中世集落	7
⑩	1986	1	CN～CU27・28、 CT～CY19～27、 CX～DD16～25、 DD～DG22・23	医短	鹿田遺跡第3次調査：校舎	6.2～11.29	2390	中世の集落、古代の河道と橋脚	10
⑫	1987	3	DD～DF25、 DG～DI27・28	医短	鹿田遺跡第4次調査 ：校舎周辺の配管	11.2～11.21	30	古代の河道	10
⑬	1987	2	BB～BH35～42	医病	鹿田遺跡第5次調査：管理棟	10.6～88.3.2 88.3.23～3.31	1192	弥生時代中期後半～中世の集落	24
⑯	1990 1991	2 1	BW～CC67～71	ア	鹿田遺跡第6次調査 ：アイソトープ総合センター	11.20～91.6.30	690	弥生～古墳時代の集落、中世集落	40
㉔	1997 1998	4 1	BR55～BX61、 BY56～57	医	鹿田遺跡第7次調査：基礎医学棟	98.2.27～8.6	829	古墳時代初頭・中世の集落、近世の水田・ 溝	50 53
㉖	1998	4	BP～BS30～32	医病	鹿田遺跡第8次調査：RI治療室	98.7.28～9.1	165	古墳時代溝・中世溝	53
㉘	1998 1999	7 1	CD33～37、 CE・CF28～37、 CG～CJ20～37、 CK・CL25～37	医病	鹿田遺跡第9次調査：病棟	98.11.27～99.5.11	2088	弥生時代水田・溝、中世～近世集落	53

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	調査期間	面積 (㎡)	概要	文献
㉓	1999	3	CD・CE10～12、 DD～DF16～22	医病	鹿田遺跡第10次調査：共同溝関連	99.5.7～99.10.14	244.1	古代の杭列（河道内）、弥生時代ビット、近世溝	56
㉔	1999	4	CD～CM19～42	医病	鹿田遺跡第11次調査：病棟	99.8.19～12.22	2020	弥生時代水田畦畔、古代池状遺構、中世～近世集落	56
㉕	2000 2001	2 －	CO～CV35～44、 CN・CM38～41、 CN28～38	医病	鹿田遺跡第12次調査 ：エネルギーセンター	00.10.2～01.05.10	1897	弥生時代溝・河道、古墳時代・中世集落、近世土坑・溝	56 61
㉖	2002	3	BL～BR46～51	大医 歯	鹿田遺跡第13次調査 ：総合教育研究棟	02.4.30～10.25	934	弥生時代の溝、古墳時代の土器溜まり・溝中世の集落、近世土坑群	71
㉗	2003	1	CD～CM12～20	医病	鹿田遺跡第14次調査 ：病棟（Ⅱ期）	03.7.31～12.17	1331	弥生～古墳時代の畦畔・溝、中世の井戸・土坑・溝・近世のため池・土坑	71
㉘	2003	2	BQ～BS45・46	大医 歯	鹿田遺跡第15次調査 ：総合教育研究棟外構工事	03.10.16～10.29	30.4	古墳時代初頭の井戸・溝、中世溝群	71
㉙	2004	1	AH～AI6・7 AF12・13、 AN～AO4	医病	鹿田遺跡第16次調査 ：立体駐車場新営工事	04.10.21～11.8	49.15	近世～近代の畦畔・溝・畝・土坑、中世の土坑、弥生～古墳の河道	81
㉚	2006	1	BR～BY60～64	医病	鹿田遺跡第17次調査 ：総合研究棟（医学系）	06.7.10～11.14	642	古墳時代住居址、古代溝状遺構、中世井戸・溝・建物、近世土坑・溝	87

＜三朝地区：福呂遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	調査期間	面積 (㎡)	概要	文献
①	1997	1・2	－	固	福呂遺跡第1次調査：実験研究棟	97.5.10～20、 7.28～31	269	縄文時代早期・弥生時代中期・中世・近世集落	55
②	1997	3	－	固	福呂遺跡第2次調査：実験研究棟 新営に伴う工事スロープ部分	97.11.25～12.5	120	近世・中世・古代の集落	55

付表2－(2) 試掘・確認調査

＜津島地区：津島岡大遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
(3)	1983	1	BH13	農	合併処理槽予定地	2.5	－	→津島岡大第2次調査：1983年度	1
4	1983	2	BF17	農	排水管中間ポンプ槽予定地	3.5	－	－	1
5	1983	3	BE～BG14、 BE・BH15、BE18、 BF16～18、BC18	農	排水管埋設予定地	2.0	－	29ヶ所で試掘→津島岡大第2次調査：1983年度	1
6	1983	4	BF22・23	農	農場畜舎新営予定地	2.0～3.0	0.6	2ヶ所、土器片<1987年度工事立会>	1
(7)	1983	5	BC・BD15	事	大学事務局新営予定地	2.0～3.0	0.9	2ヶ所、→津島岡大第26次調査：2000年度	1
(8)	1983	6	BB10	保	保健管理センター新営予定地	2.0～3.0	0.8	→津島岡大第10次調査：1999年度	1
9	1983	7	BI16	事	津島宿舎新営予定地	0.9	0.9	土器片<1987年度工事立会>	1
10	1983	8	AW05	工	校舎新営予定地	3.0	1	土器片	1
12	1985	1	BE08	教養	講義棟予定地	3.5	1.2	遺構など未確認<1986年度工事立会>	5
13	1985	2	AX02	教育	研究棟予定地	2.6～3.4	1.2	3ヶ所、縄文・弥生土器出土	5
14	1985	3	AV・AW99～01	学	男子学生寮新営予定地	2.0～3.0	1	→津島岡大第3調査：1986年度	5
(17)	1986	3	BF・BG09	学	屋内運動場新営予定地	2.4、1.2～1.7	1.1	→津島岡大第4次調査：1986年度	6
(18)	1986	4	AY・AZ07	大自	自然科学研究科棟新営予定地	1.6～3.2	0.6～0.8	→津島岡大第5次調査：1988年度	6
22	1987	4	AP02（土生地区）	事	外国人宿舎建設予定地	2.2～2.8	－	縄文時代・弥生時代・近世の遺構面	8
(23)	1987	5	AV11	情	総合情報処理センター新営予定地	2.0～3.0	2	→津島岡大第11次調査：1993年度	8
24	1987	6	AY09	理	身体障害者用エレベーター建設予定地	3.0～3.5	約1.0	中世・近世の遺物、古代・中世の水田<継続して調査>	8
25	1987	7	BD09	教養	身体障害者用エレベーター建設予定地	2.5	0.7	縄文時代遺構、縄文・中世・近世土器<継続して調査>	8
29	1988	17	AX04・06、AW04	工	校舎建設予定地	2.0～3.5	－	→津島岡大第6・7次調査：1988年度	11
30	1988	19	BD18・19	農・薬	動物実験飼育施設・遺伝子実験施設	2.3	1.1～1.2	→津島岡大第8次調査：1991年度	11
31	1988	20	BC29	事	国際交流会館	2.5	1.2	中世・近世の遺物出土<1988年度工事立会>	11
33	1989	2	AZ・BA05	教育	身体障害者用エレベーター	2.5	0.8	縄文時代後期・弥生時代早期の落込み、縄文時代後期～中世土器片<継続して調査、面積38.5㎡>	14
34	1989	3	AZ17	大自	合併処理槽設置予定地	4.0	1.6～2.0	中世～明治の水田の畦畔・溝<1989年度工事立会>	14
35	1989	4	BD02	学	学生合宿所予定地	2.0～3.2	1	弥生時代早・前期の畦畔<1989年度工事立会>	14
(36)	1989	5	AV・AW13	図	図書館新営予定地	3.0	1.4～1.6	→津島岡大第12次調査：1993年度	14
40	1990	3	BC02	学	学生合宿所ポンプ槽予定地	2.5	1.1	弥生時代前期畦畔、中世土器片	18
41	1990	6	AW・AX11	学	福利厚生施設予定地	3.9	1.4～1.6	→津島岡大第13次調査：1994年度	18
56	1993	3	BE～BF22～23	農	農学部汎用耕地実験実習施設	1.5	－	中～近世耕作土	30
65	1994	3	BD20	農・薬	動物実験施設	2.0	0.9	GL～1.4mで黒色土、縄文土器1点出土<盛り土保存>	33

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
71	1995	4	BE26	事	国際交流会館新営予定地	4.1・2.4	1.6	明治～中世の土層確認、以下は湿地状態、 遺構・遺物無し（明治畝のみ） <工事立会>	38
72	1995	5	AW02・03	環	環境理工学部新営	2.4	1.2	→津島岡大第17次調査：1996年度	38
73	1995	6	BF07	学	ボクシング部ボックス移設	3.0	3	標高2.5mで黒色土、弥生～古墳時代の溝 2条、古代溝1条	38
(90)	1998	9	AZ09	理	コラボレーションセンター新営に伴う 試掘調査	2.7～3.4	1.3	→津島岡大第19次調査：1998年度	53
(91)	1998	10	AW02・03	環	校舎（Ⅱ期）新営に伴う調査	4.5	1.2	→津島岡大第22次調査：1998年度	53
92	1998	13	AW04	工	システム工学科棟新営に伴う調査	2.8	1.0	GL-1.8mで黒色土、縄文後期の遺構	53
93	1998	14	AU02・03・06、 AV03	事	遺跡保護区整備に伴う調査	2.4～3.8	0.8～1.6	5ヶ所、TP1・3・5：微高地状、TP2・4 は低湿地状、TP1で弥生溝、TP3で弥生 溝・ピット、TP4で中世溝	53
(105)	1999	6	AZ15、BA14	文・ 法・経	総合校舎新営に伴う調査	2.7、3.5	0.81.1	→津島岡大第23次調査：1999年度	56
106	1999	7	AV08	工	電波暗室新営に伴う調査	1.2	0.2	現表土以下、基盤となる岩盤層	56
114	2000	6	AV00、 AX00・02・03、 AZ06、AW08	-	縄文～弥生時代における環境復元 に伴う調査	2.6～3.2	1.7～0.9	6ヶ所掘削、縄文・弥生時代の微高地、 古代溝を確認	61
115	2000	7	BB14	-	創立50周年記念館新営に伴う調査	2	0.8	→津島岡大第27次調査：2001年度	61
129	2002	5	BD15	事	事務局旧本部棟移転に伴う調査	2.1		黒色土の落ち検出	71

＜鹿田地区：鹿田遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
(4)	1984	1	BU30・31	医病	西病棟北側受水槽予定地	1.4	0.5～0.7	中世土器・包含層確認<盛土保存>	2
(5)	1984	2	CT・CU25、 CZ19・20・23・24	医短	医療短期大学部校舎新営予定地	2.7	0.8～1.0	→鹿田第3次調査：1986年度	2
6	1985	4	AJ33、AI40、 AJ・AK26	医病	外来診療棟環境整備工事に先立つ 範囲確認調査	2.2～3.0	0.9～1.4	弥生時代～中世の遺物	5
(17)	1990	5	BY・BZ68	ア	アイントープ総合センター予定地	2.3	1.2～1.3	→鹿田第6次調査：1990年度	18
(26)	1997	8	BT57	医	基礎医学棟	2.2	0.9	→鹿田第7次調査：1997年度	50
29	1998	11	CF・CG43・44、 CH25・26、 CK35・36、CK15	医病	病棟新営に伴う調査	2.0～2.4	1.0	→鹿田第9次調査：1998年度	53

＜倉敷地区＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
1	1990	4	—	資生 研	資源生物科学研究所遺跡確認調査	2.5	0.7	中世後半以降の土器片	18
2	1998	12	—	資生 研	バイオ実験棟新営工事に伴う調査	1.5	0.4	近世干拓地内、遺構未確認	53

＜東山地区＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
163	2006	1	—	教育	附属小学校校舎建替え工事に伴う 調査	3.0	0.3～0.5	4ヶ所、近世・近代溝3条、中世？畦畔	87

＜三朝地区：福呂遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
3	1997	5・6	—	固	実験研究棟新営工事に伴う試掘調 査	1.66～2.1	0.8	2ヶ所→福呂第2次調査：1997年度	50
5	2004	1	—	固	三朝宿泊所増築工事に伴う試掘・ 確認調査	1.3	0.5～0.9	3ヶ所、遺構・遺物・遺物包含層確認さ れず	81
6	2004	2	—	固	高圧線・電話線切替工事	1.0	0.85	1ヶ所、河床礫、段丘礫層確認	81

付表2-(3) 立会調査

＜津島地区：津島岡大遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
11	1984	20	BI15～17	事	南宿舎合併処理槽関係配水管理設	1.0～2.2	1.0	溝・土坑、弥生土器・須恵器	2
19	1986	12	BE08・09	教養	校舎新営	2.3	1.3	中・近世の溝・土器	6
20	1986	21	BG08	学	ハンドボールコート新設	0.2～2.0	0.8	黒色土確認	6
21	1986	26	BF07・08	教養	校舎新営に伴う電気配管	1.8	0.9	中世包含層	6
32	1988	17	BG10・11	教養	テニスコート夜間照明施設	2.2	1.5	GL-約2mで黒色土、西に向かう落ちを 推定	11

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調 査 名 称	掘 削 深 度 (m)	造成土厚 (m)	概 要	文献
37	1989	8	AZ08	大自	自然科学研究科棟新営 ：工事用道路	1.4		弥生時代後期水田・溝	14
38	1989	10	AU05	工	校舎新営に伴う電柱架設	1.9	1.0	黒色土確認	14
42	1990	16 19	AV04～10	事	岡山市道本町津島東線拡幅に伴う 補償工事Ⅰ：電柱移設	0.4～3.0	0.6～1.4	5ヶ所、黒色土、条里南北溝	18
43	1990	20	BC02～04、 BD03・04	事	岡山市道本町津島東線拡幅に伴う 補償工事Ⅰ ：学生合宿所給排水管設置	2.3	1.2	GL－2.3mで黒色土	18
46	1991	9	BC18	農・業	防火用水撤去	2.0	0.8	基盤層まで掘削、石鏝出土	21
47	1991	17	BB16	事	津島地区基幹整備（電気） ：ハンドホール・アース板	1.7～1.8	0.5	2ヶ所、明治層～淡灰色粘土層	21
48	1991	19	BD15	事	津島地区基幹整備（電気） ：アース板	1.7	1.0	GL－1.5mで黒色土	21
49	1991	40	BC・BE・BF12	事	南北道路街灯設置	1.5		3ヶ所、GL－1.4mで古代層	21
52	1992	15	BD18	農・業	遺伝子実験施設ハンドホール設置	1.5	0.75～ 1.1	縄文後期層まで掘削、溝2本	25
53	1992	34	AV12	事	附属図書館北側駐車場整備	3	1.7	造成土以下は粘土層	25
57	1993	17	BB～BC10～12	保	保健管理センター新営に伴う外構 工事ほか：電気配線	1.8	0.6～0.7	保健管理センター本調査と同じ層序、黒 褐色土はGL－1.15～1.7m、その直下に基 盤層	30
58	1993	19	BB11	保	保健管理センター新営に伴う旧棟 改修：電気配線	1.1	0.8	弥生土器片、工法変更	30
59	1993	23	BA07	事	津島地区基幹整備：RⅠ共同利用 施設排水処理施設他設置	3.2	－	明治～中世層・暗褐色土層、古代溝？、 縄文晩期？土器片	30
60	1993	28	BD～BE13	事	津島地区環境整備：南北道路沿水 路ボックスカルバート敷設	1.5	1.0	近世～中世層を確認	30
61	1993	33	BB～BG12～13	事	津島地区環境整備：水銀灯設置	1.8	0.5～1.2	10ヶ所、近世～中世層まで掘削、一部で 暗褐色土層を確認	30
62	1993	34	BD～BE12・13	事	津島地区環境整備：信号機設置	1.6	1.0	近世から中世層、一部で暗褐色土層	30
63	1993	39～ 41	BB05～07、 BC05・41	学	野球場バックネット・防球ネット 改修	2.0～3.2	1.0	GL－1.2～2.0m付近で黒色土、以下は黄 色砂～青灰色粘土	30
66	1994	9	BD・BE・BF04～07	事	陸上競技場照明灯設置	2	0.96	オーガー掘削（径80cm・深さ10m）、GL －1.92～2.0mで黒色土	33
67	1994	13	AV10、AW10、 AU11	情	総合情報処理センター新営電気工 事	2.2	1.5	近世2面、中世（近世か？）1面、GL－ 1.7mで黒色土、近世溝	33
68	1994	20	BD20	農	焼却場	2.2	1.5	GL－1.9mで黒色土	33
76	1996	4	BC18	農・業	動物実験棟新営に伴う造成土取り	2.2	1.9	黒色土層付近まで掘削	44
77	1996	5	BD16～19	農・業	動物実験棟新営に伴うハンドホー ル設置工事	1.3	－	4ヶ所、造成土以下に5層確認	44
78	1996	12	AV02、AV03、 AV04、AV99、 AW02、AW04	サ	サテライトベンチャービジネススラ ボラトリ－新営：外灯設置工事	1.0～1.5	0.76～ 1.1	6ヶ所、明治層2面・近世層2面・中世 層？1面・弥生層？1面	44
79	1996	13	AV03～AW03	サ	サテライトベンチャービジネススラ ボラトリ－新営：配管設置工事	2	0.95	弥生時代層まで掘削、古墳時代前期の遺 構・遺物	44
80	1996	18	AW03	環	校舎新営予定地電柱移設工事	2	－	黒色土まで掘削	44
81	1996	25	AV13	図	附属図書館新営 ：雨水樹・外構工事	1.3	1.0	造成土以下に青灰色粘質土・黄褐色粘質 土・灰褐色粘質土	44
82	1997	16	BB13～BH13	事	南北道路ガス管理設工事	1.5	－	中世層まで掘削	50
83	1997	19	AW11～BA13	事	南北道路ガス管理設工事	1.5	－	中世層	50
84	1997	24	BC12	事	福利厚生施設新営に伴う共同溝新 設工事	2.0	0.8	GL－1.65mで黒色土、古代～近世の溝	50
94	1998	15	BA09	事	構内外灯設置工事	1.47	1.0	GL－1.42mで黒色土	53
95	1998	22	AZ09、BA09	理	コラボレーションセンター支障配 管布設替工事	1.4	1.0	GL－1.4mで黒色土	53
96	1998	24	BB12、BC12	事	南福利街灯設置工事	1.4	0.95	中世層まで掘削	53
97	1998	31	AY06	環	校舎新営に伴うガス管理設工事	1.2～1.4	0.65～ 0.95	中世層まで掘削、10ヶ所	53
98	1998	34	BC10	事	学生会館改修に伴うトラップ樹撤 去工事	2.2	1.45	GL－1.7mまで灰褐色粘質土層、GL－2.2m まで青灰色粘質土層	53
99	1998	35	BA00	事	NTT電柱移設工事	1.5	0.9	造成土以下に褐色系粘質土	53
100	1998	41	AX03～AY07	環	実験排水管理設工事	1.4	0.6～1.4	10ヶ所、5地点で中世層、2地点で古代 層、1地点で古墳時代層まで掘削	53
101	1998	42	AU02	環	馬場移設に伴う樹木移植	2.2	1.1～1.3	GL－2mで弥生後期層、GL－2.2mで縄文 基盤層	53
102	1998	44	AV03、AW03	環	校舎新営に伴う生活排水樹設置工 事	1.97	1.4	古墳時代層まで掘削、須恵器・土師器	53
103	1998	48	AW03	環	校舎新営に伴うガス管理設工事	1.45	1.0	中世層まで掘削	53
107	1999	8	AY00、AZ01・03	施	構内外灯設置工事	1.15～1.35	0.5～1.2	3ヶ所で黒色土（GL－0.85～1m）確認	56
108	1999	12	AZ08・09	理	コラボレーションセンター新営工 事に伴うハンドホール	1.48～2.1	1.03～ 1.16	2ヶ所、1ヶ所で古墳時代層まで掘削	56
109	1999	13	AW02	環	校舎（Ⅱ期）新営に伴うスロープ 設置工事	3.5	1.2	調査面積25㎡、黒色土下面まで調査、近 代土坑・古代溝・縄文後期ビット	56
110	1999	42	AZ09	理	コラボレーションセンター新営に 伴う排水樹	1.0～1.2	0.8～1.0	6ヶ所、1ヶ所で黒色土対応層まで掘削	56
116	2000	17	BA12	事	津島地区電柱工事	1.6	1.0	造成土下に灰色粘質土・暗茶褐色粘質土 層	61

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調 査 名 称	掘 削 深 度 (m)	造成土厚 (m)	概 要	文献
117	2000	23	AY09	理	校舎改修工事 ：理学部本館基礎補強工事	1.3	0.9	造成土下に暗青灰色粘質土・褐色粘質土・ 灰色粘質土	61
118	2000	28	AX10、AY10	理	校舎改修機械設備工事：電気	0.85～1.60	0.8～1.1	南側ハンドホールはGL－1.6mまで掘削、 GL－1.52mで中世溝（南東から北西方向 に向かって走行）	61
119	2000	42	AW08、AX08	工	精密応用化学科棟都市ガス改修工 事	1.6～2.05	1.45	GL－1.82mで明灰褐色粘土（中世?）	61
120	2000	44	BA16	大文	総合研究棟仮設電柱建柱工事	1.5～1.7	1.0	GL－1.4mで中世層?、軍庭園の築山、 土塁を一部掘削	61
122	2001	4	AZ10	理	校舎改修電気設備工事	1.6	1.0～1.2	ハンドホール部分で中世溝	66
123	2001	11	BB～BC16	事	本部棟電柱設置工事	1.5～2.1	1.2～1.4	2ヶ所、GL－1.4mで灰色粘土、GL－2.1 mまで谷部か?	66
124	2001	27	BB・BC13	事	本部棟車庫移設工事	0.5～1.6	1.0	2ヶ所、中世層まで掘削	66
125	2001	30	BB14	事	本部棟樹木移植	1.6	0.65～ 0.8	GL－1.4mに灰色粘質土層（古代）を確 認	66
126	2001	31	BB14	事	本部棟車庫移設工事に伴う旧変電 室基礎解体工事	1.05	0.45～ 0.75	12ヶ所掘削、中世層まで掘削	66
130	2002	29	BE15	農	校舎改修電気設備工事	1.8	1.5	3ヶ所、古代・古墳層まで掘削	71
131	2002	34	BC13～15	事	本部棟新設工事：排水樹・管路	1.2～2.5	0.7～1.2	突帯文土器・石器がまとまって出土、近 世溝・弥生溝	71
132	2002	51	BB13	事	本部棟新営その他工事 ：雨水排水樹・管路	1.57	0.8	中世層と古代・古墳層を確認	71
133	2002	54	BB13・BD14	事	本部棟新営その他工事：外灯	0.95～1.9	0.8	2ヶ所で中世層と古代層まで掘削、GL －1.3mで黒色土	71
134	2002	55	BC07・09	教養	一般教育棟B棟外灯設置工事	1.0～1.26	0.95	4ヶ所、中世層まで掘削	71
135	2002	57	BB～BC14～15	事	創立五十周年記念館新築工事 ：汚水排水	1.0～2.3	0.85～ 1.0	一部黒色土上面まで掘削	71
136	2003	1	BB13～15	五十	創立五十周年記念館新築に伴う掘 削（雨水排水樹・管理設工事）	1.3	0.7～0.8	中世層まで掘削	74
137	2003	4	AX06	工	総合研究棟新営機械設備工事 （ガス配管埋設工事）	1.4	0.9	古代層?まで掘削	74
138	2003	6	BC15	事	旧事務局庁舎改修電気設備工事	2.43	0.85	GL－1.9mで黒色土、GL－2.1mで縄文基 盤層確認	74
139	2003	7	BB、BC18	農	農学部総合研究棟改修電気設備工 事（仮設電力・電話引き込み建柱 工事）	1.7	0.7	径0.5m、GL－1.2m前後で黒色土層、GL －1.5～1.6m前後で縄文後期基盤層確認	74
140	2003	8	AX06～BA06	工	総合研究棟新営その他工事 （雨水排水）	1.7	0.7～0.8	標高3.3～3.4mで黒色土、弥生～古代の東 西溝多数、近世・近代の東西溝・畦畔	74
141	2003	14	AW、AX06、07	工	総合研究棟新営電気設備工事 （外灯）	1.4	－	中世層まで掘削	74
142	2003	15	AW～AX06～07	工	総合研究棟新営その他工事（排水）	0.5～2.5	1.6	樹で縄文基盤層まで掘削した箇所あり、 弥生溝	74
143	2003	17	BC～BD15	事	旧事務局庁舎改修電気設備工事 （外部給水・消火配管）	2.75	1.1	樹で、縄文基盤層確認	74
144	2003	21-1	BG～BH13	事	公共下水樹接続工事No.1区間 農学部合併処理槽	1.8	0.9	縄文基盤層まで掘削	74
145	2003	21-2	BE～BG10	事	公共下水樹接続工事No.2区間 体育館東～武道場西	1.95～2.25	0.8～0.9	樹で縄文基盤層、管路で弥生早・前期ま で掘削、弥生溝・縄文土坑	74
146	2003	21-4	AZ16	事	公共下水樹接続工事No.4区間 文・法・経2号館西	2.45	1.5	縄文基盤層まで掘削、弥生溝確認	74
147	2003	21-5	BA10	事	公共下水樹接続工事No.5区間 理学部	1.9	0.7	中世頃の座主川を確認	74
148	2003	21-6	BG22	事	公共下水樹接続工事No.6区間 農学部4号館東	1.5～1.9	0.9～1.4	縄文基盤層まで掘削、弥生～古墳初頭 ビット、近代畦畔状遺構	74
149	2003	21-7	BI16	事	公共下水樹接続工事No.7区間 津島宿泊所	1.15～1.3	0.8	中世層まで掘削	74
150	2003	21-8	BI15	事	公共下水樹接続工事No.8区 間南宿舍	2.0～2.45	1.1	縄文基盤層まで掘削	74
151	2004	1	BB～BD26	事	公共下水樹接続工事 留学生等宿泊施設	1.22～1.68	1.0	中世層まで掘削	81
152	2004	6	BB9・10	事	津島キャンパス環境整備留学生セ ンター西	0.5～1.15	0.4～0.6	弥生後期包含層・遺構・礫層確認	81
153	2005	3	AV08	工	工学部総合研究棟改修工事 （仮設電柱掘削取り付け）	8.5	1.5	GL－0.9mまで造成土、以下、青灰～白 灰色の粘質土3層を確認、「黒色土層」 は確認されず	83
154	2005	5	AW09	工	工学部総合研究棟改修電気設備工 事（アース板設置）	1.8	－	基盤層～黒色土～明治の土層堆積確認	83
155	2005	9	BE02、BG07	事	キャンパス環境整備（門扉改修等） 工事	1～1.3	0.7	東07地点：GL－0.7mで明治耕土と畦畔・ 溝、－1mで中世層確認、東08地点：近世 畦畔、中世層確認	83
156	2005	13	BC～BE03、BB・ BC02	事	プール改修（排水管改修）工事	0.75～2.4	0.8～1.3	縄文基盤層～近代層の堆積確認、「黒色 土」確認、弥生～古墳の溝多数、近世土 坑、近代大畦畔・溝	83
157	2005	14	BB・BC04	事	サッカー場防球ネット設置工事	2.0～2.2	－	オーガーによる掘削、一部で「黒色土」 確認	83
158	2006	2	AX10	工	工学部総合研究棟Ⅱ期改修工事 ：耐震工事に伴う支障物撤去・PC 耐震柱基礎掘削	8.18～21.9.8	1.8	近代耕作土層以下、中世層まで5枚の層 を確認。近世面で南北方向の溝	87

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
159	2006	3	AZ～BA02～04	教育	教育学部公共下水樹接続工事	9.4～21	2.3	樹1箇所、深さ2.3m。配管、深さ1.05～1.92m。黒色土層あるいは基盤層まで掘削。東西方向の溝	87
160	2006	5	BA・BB02、BC02	事	プール改修配管接続工事	9.28～10.3	1.7	黒色土層あるいは基盤層まで。古墳時代頃の溝状遺構	87
161	2006	11	AX08～09	工	工学部総合研究棟Ⅱ期改修工事：耐震工事に伴うPC耐震柱基礎掘削	12.25～27	1.8	古墳～弥生層	87
162	2006	12	BF16	農	農学部2号館南電柱移設	07.2.23	2	中世層まで	87

＜鹿田地区：鹿田遺跡＞

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
3	1983	23	AO～AW22	医病	外来診療棟蒸気配管埋設	1.3	－	弥生時代後期土器・分銅形土製品、貝集積	1
7	1985	6	AW～BH23、 BH・BI24	医病	外来診療棟関係屋外排水管理設	1.3～1.7	0.7～1.3	中世・弥生の遺構・遺物	5
8	1985	12	AG31、AG24、 AF23	医病	基幹環境整備緑化工事： 電気配線ハンドホール掘削	1.2～1.7	0.9～1.3	3ヶ所、中世包含層・ビット	5
9	1986	9	BI～BN4	医病	記念館東側汚水管改修工事	0.8～1.3	0.8	中世包含層、土器出土	6
11	1986	24	CL～CR12、CR～ CX13、CX～DA14	医短	護岸及び囲障工事	2	0.8～1.0	中世包含層	6
14	1987	8	BC37	医病	管理棟新営に伴う基礎杭確認	2.5		弥生時代包含層・遺構	8
15	1989	46	CE30・37・44、 CJ・CK45、 CL28・29	医病	旧管理棟跡地環境整備：外灯基礎	1.2～1.5	0.7～1.0	2ヶ所、中世層を確認	14
18	1992	29	BW71	ア	アイソトープセンターL形側溝・ 集水枡	1.4～1.5	0.9	中世溝1条	25
19	1992	41	CI73	医	テニスコート脇電柱埋設	1.2	1.0	古代土器1点	25
20	1994	5	DH60～62	医	護岸改修工事	1.5	0.8	近世層以下はすべて遺構埋土の可能性あり、溝3条・ビット9基	33
21	1995	11	BG・BI18	医病	鹿田地区基幹整備： 附属病院連絡通路新設	1.5	1.0	造成土以下に茶褐色土・青灰色粘質土層、 遺物なし	38
22	1995	14	CD07・08	医病	鹿田地区基幹整備： 液酸タンク設置工事	2.3	1.0	中世2面確認、溝3条、溝内から中世・ 古代の土師器出土	38
23	1995	17	CD08～CC11	医病	鹿田地区基幹整備：附属病院液酸 タンクU字溝埋設工事	1.23	0.85	包含層確認、中世土器細片、既設管・工 事基礎などで区間全長の1／2程度は破 壊	38
24	1995	23	DF56～67	医	防球ネット取設工事	3	0.8	径60cmを12ヶ所、その内4ヶ所で土器 片・石器出土、調査区西寄り、GL－2 m以下は旧河道か。	38
30	1998	36	BV73、CN78	医	校舎新営に伴う仮設電柱工事	1.2	1.0	中世層まで掘削	53
33	1999	15	BV65～71	医	研究棟新営に伴う給排水樹・管路	1.2～1.4	0.9	中世層まで掘削	56
34	1999	18	BU65	医	研究棟新営に伴う検水槽	2.2	1.1	面積8.2㎡、近世溝、中世溝・ビット	56
35	1999	27	BY42・43、 BI43・44	医病	基幹整備（電気設備）：地中配管	1.25～1.45	0.45～ 0.5	2ヶ所、中世層まで掘削、時期不明の遺 構	56
36	1999	41	CF21～28、 CF～CL28、 CD～CF28～33	医病	病棟新営に伴う共同溝解体	1.7	－	面積18㎡、鹿田11次調査3区南側部分で 中世ビット	56
37	1999	46	CN46～DE49	医病	病棟新営に伴う汚水樹・管路	2.3	1.2	古墳時代の井戸1基・土坑1基・中世溝等	56
38	1999	47	CM・CN・CP・ CR・CT58、CV・ DA・DC・DD・ DF59	医	グラウンド防球ネットポール	2.0～2.3	－	11ヶ所、南側6ヶ所は河道、7～10ヶ 所付近は微高地、最北端は河道	56
39	1999	48	BT51	医病	病棟新営に伴う汚水検水樹	2	1	造成土以下7層確認、古墳時代層まで掘 削か。	56
41	2000	25	CD41～CN45	医病	病棟新営その他工事： 管路・雨水樹	1.6～1.8	－	溝と思われる遺構など確認	61
42	2000	26	CN15・21・27、 CO31・42、CS45、 DV45	医	電柱及び外灯の埋設工事	1.6	－	7ヶ所、灰白色土層・淡褐色砂質土層・ 暗褐色砂質土層を確認、微高地部か。	61
43	2000	29	DI27	医	医学部ガス配管切り離し用バルブ 取付工事	0.8～1.15	0.7	GL－0.85mで黄灰色粘質土	61
44	2000	47	DG～DJ28～67	医病	鹿田団地南側用水路境界擁壁改修	2.1～2.3	1.3～1.5	幅120mの壁面調査、古代の遺構・河道	61
45	2001	37	BR～CA43、CA43 ～55、CA44～ CL45、BR～CA55	医	総合教育研究棟埋蔵文化財発掘調 査に伴う機械設置工事	1.65	0.7～0.9	中世層まで掘削、中世土器が多数出土し た地点あり。	66
47	2002	10	CH11～CN22	医	鹿田団地ガス配管埋設工事	1.0～1.3	0.87	中世層まで掘削	71
48	2002	19	BT・BU11	医病	鹿田団地ガス配管埋設工事	0.5～1.8	－	2ヶ所、GL－1.22mまで掘削した地点で 中世または古代層確認	71
49	2002	22	CQ41～42	医病	エネルギーセンター棟新営その他 工事：共同溝排水管	1.5	－	1ヶ所、包含層まで掘削	71
50	2002	25	CG41、CO34、 CF43、CO38	医病	エネルギーセンター棟新営その他 工事：外灯	1.47～1.66	－	4ヶ所、中世層まで掘削	71
51	2002	27	CV36～45	医病	エネルギーセンター棟新営その他 工事：外溝	0.9～1.9	0.9	中世の井戸・柱穴・溝	71
52	2002	36	BI～BS45～53	大医 歯	総合教育研究棟新営その他工事	1.85～2.0	0.8～1.0	5ヶ所、中世層まで掘削	71

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
53	2002	52	DC67	事	本部棟新営その他工事：植採移植	1.25	－	中世層	71
54	2002	56	BG18	医病	旧混合病棟グリーストラップ改修	1.68	－	底面で弥生～古墳層、土器小片	71
55	2003	5	BS～BZ45、CA～CO46、CO45	医	総合教育研究棟新営その他工事（屋外排水）	1.7	0.7～1.0	弥生中期?包含層まで掘削、近世土坑・中世ビット多数、低地部確認	74
56	2003	9	BL～BS45～53	医	総合教育研究棟外構工事（雨水・汚水・実験排水）	0.8～1.75	0.7～0.9	弥生中期包含層まで掘削した箇所あり、古墳時代溝、中世井戸、近世土坑等を確認	74
57	2003	10	BR～BS50～54	医	総合教育研究棟給水配管埋設工事	1.33	0.8	一部で中世層確認	74
58	2003	13	BR53、BL54	医	総合教育研究棟外構工事（外灯）	1.4	0.8	中世層まで掘削	74
60	2004	3	AF16、AF～AJ17、AJ9～16	医病	医病構内支障ガス配管替工事	1.0～1.9	0.7～0.8	接続部で近世～近代の水田層、中世の畦畔を確認。弥生～古墳の河道と推定される砂層を確認。	81
61	2004	5	AE4～16、AF～AI16、AI9～15、AJ～AO09	医病	医病構内支障給水管配管替工事	0.9～1.9	0.85	柵で中世?～近代の畦畔確認。弥生～古墳の河道と推定される砂層を確認。	81
62	2005	3	DH～DJ18、DJ19	医	医学部変電所ビット周辺高圧ケーブル設置工事	1.1～2.5	0.7～1.1	一部で弥生～近代層確認	83
63	2006	6	CT～CU45	医病	エネルギーセンター棟新営に伴う工事	2.5	0.9	鹿田第12次調査地点と重複、同様の状況	87

<東山地区>

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
1	1983	13	－	教育	附属中学校新営	4.0～5.0	－	シルト層中	1
2	1997	29	－	教育	附属小・中学校他開障改修工事	1.2	0.79	GL－1.1mで近世水田層、溝1条	50

<三朝地区：福呂遺跡>

総合 番号	年度	番号	構内座標	所属	調査名称	掘削深度 (m)	造成土厚 (m)	概要	文献
4	1997	18	－	固	実験研究棟新営に伴う電気埋設管路工事	1.0	－	GL－1.0mで中世包含層は東に向かい上昇	50

付表3 埋蔵文化財調査研究センター収蔵遺物概要（2007年度現在）

所属	種類	調査名・地区名	箱 数（1箱：約30リットル）							備考 （主要時期・特殊遺物）	文献
			総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	サンプル*		
医病	発掘	鹿田第1次調査（外来診療棟）	598	493	15.5	60	0.5	1	28	弥生中期～中・近世、木製短甲・人面線刻土器・ガラス滓等	7
〃	〃	鹿田第2次調査（NMR-CT室）	118.9	94	0.4	20	0.5		4	弥生後期～中世、田舟・木簡等	〃
医短	〃	鹿田第3次調査（校舎）	131.6	36	0.3	90	0.3		5	古代～中世、石帯	10
〃	〃	鹿田第4次調査（配管）	3.5	2	0.3		0.2		1	古代、鹿角製品	〃
医病	〃	鹿田第5次調査（管理棟）	130	87	2.5	20	1.5		19	弥生後期～中・近世	24
ア	〃	鹿田6次調査 （アイソトープ総合センター）	62	59	0.5	1	1.5			中世、青銅製腕	40
医	〃	鹿田第7次調査（基礎医学棟）	81	66		10		1	4	弥生～近世、猿形木製品	53
医	〃	鹿田第8次調査（RI治療棟）	8	8						弥生～中世	53
医病	〃	鹿田第9次調査（病棟Ⅰ期）	120.1	96	0.1	13		9	2	弥生～近世、木簡3点	56
医病	〃	鹿田第10次調査（共同溝）	2	2						古代～近世	56
医病	〃	鹿田第11次調査（病棟Ⅰ期）	74	66		4		2	2	弥生～近世、木簡1点	56
医	〃	鹿田第12次調査 （エネルギーセンター）	147	77	1	54			15	弥生～近世、櫛	61
医病	〃	鹿田第13次調査（総合教育研究棟）	254	211	5	10			28	弥生～近世	71
医病	〃	鹿田第14次調査（病棟Ⅱ期）	66	54		3			9	中世～近世	74
医	〃	鹿田第15次調査 （総合教育研究棟関連）	4	4						古墳初頭・中世	74
医病	〃	鹿田第16次調査 （立体駐車場エレベーター他）	1	1						弥生～近世	81
医	〃	鹿田第17次調査 （総合研究棟（医学系））	111	68	4	8		1	30	弥生～近世	87
医病	〃	鹿田第18次調査（中央診療棟関連）	188	118	19	18			33	弥生～近世	本紀要
全	〃	津島岡大第1次調査（NP-1）	5	0.5	0.5	4				弥生中期～古代	3
農	〃	津島岡大第2次調査 （農学部合併処理槽・配管）	17.5	12	1.5				4	弥生早期～弥生前期	4
学生	〃	津島岡大第3次調査（男子学生寮）	67	49	1.5	2	4.5		10	縄文後期～古墳初頭、古代～近世 石製指輪、蛇頭状土器片	19
〃	〃	津島岡大第4次調査（屋内運動場）	1	1						弥生早期～弥生前期＜試掘調査遺物を含む＞	6
大自	〃	津島岡大第5次調査 （大学院自然科学研究科棟）	82	68	3	1	8		2	縄文後期～古墳、古代～近世、耳栓・木製櫛（縄文）、堅果類	27
工	〃	津島岡大第6次調査 （生物応用工学棟）	49	33	1	9	6			縄文後期～近世、人形木器、アンペラ、人形土製品	35
工	〃	津島岡大第7次調査 （情報工学棟）	31.5	10	0.5	1			20	縄文後期～近世	35

所属	種類	調査名・地区名	箱 数 (1箱:約30リットル)							備考 (主要時期・特殊遺物)	文献
			総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	サンプル*		
全	発掘	津島岡大第8次調査 (遺伝子実験施設)	11.5	10	0.5				1	縄文後期～近世	32
工	〃	津島岡大第9次調査 (生体機能応用工学科)	50.5	30	2.5	3			15	縄文後期～近世	47
全	〃	津島岡大第10次調査 (保健管理センター)	87	78		7			2	弥生前期～近世	65
〃	〃	津島岡大第11次調査 (総合情報処理センター)	5.5	3	0.5				2	縄文後期～近世	36
〃	〃	津島岡大第12次調査 (図書館)	55	24	1	20			10	縄文後期～近世	65
〃	〃	津島岡大第13次調査 (福利厚生施設北)	12.5	12	0.5					縄文後期・古墳前期・中世	41
〃	〃	津島岡大第14次調査 (福利厚生施設南)	13	12					1	弥生～古墳	46
〃	〃	津島岡大第15次調査 (サテライトベ ンチャービジネスラボラトリー)	68	14	10	20			24	縄文後期～中世、縄文後期・弥生 早期遺物、アンペラ、堅果類	72
農業	〃	津島岡大第16次調査 (動物実験棟)	0.3	0.3						縄文後期・弥生～中世	44
環	〃	津島岡大第17次調査 (環境理工学部校舎Ⅰ期)	85	62	11				12	縄文後期～近世	77
全	〃	津島岡大第18次調査 (南福利ポンプ槽)	1	1						縄文後期～近世	53
理	〃	津島岡大第19次調査 (コラボレーション・センター)	31	21	1	4		2	3	縄文後期～近世	64
環	〃	津島岡大第20次調査 (環境理工学部ポンプ槽)	1	1						縄文後期～近世	53
工	〃	津島岡大第21次調査 (工学部エレベーター)	7	5	2					縄文中期～近世	64
環	〃	津島岡大第22次調査 (環境理工学部校舎Ⅱ期)	37	26	4	3		1	3	縄文後期～近世、古代堰部材、曲 げ物	77
文法経	〃	津島岡大第23次調査 (総合研究棟)	90.5	20	0.5	60	2		8	縄文後期～近世、杭 (縄文)、石棒	80
文法経	〃	津島岡大第24次調査 (総合研究棟渡り廊下)	2.1	1	0.1	1				縄文後期～近世、杭 (縄文)	80
農	〃	津島岡大第25次調査 (農学部散水施設)	0.3	0.1		0.2				中・近世	61
事	〃	津島岡大遺跡第26次調査 (事務局本部棟)	33	17		5		1	10	縄文後期～近世	76
事	〃	津島岡大遺跡第27次調査 (創立五十周年記念館)	15	14	1					縄文中期～近世	68
工	〃	津島岡大遺跡第28次調査 (自然科学系総合研究棟)	17	15	2					縄文後期～近世	71
農	〃	津島岡大遺跡第29次調査 (農学部共同溝)	2.1	2	0.1					縄文後期～近世	71
	〃	津島岡大遺跡第30次調査 (インキュベーション施設)	37.2	15	0.1	18			4.1	縄文後期～近世	本紀要
固	〃	福呂遺跡第1次調査 (実験研究棟)	9	8					1	縄文早期・弥生中期・中世	55
固	〃	福呂遺跡第2次調査 (実験研究棟スロープ)	2.1	2				0.1		中世～近世	55
医病	試掘 確認	鹿田 (駐車場)	1	1						弥生～中世	5
学生	〃	津島北 (男子学生寮)	1	0.7	0.3					縄文後期～弥生前期	〃
大自	〃	津島北 (自然科学研究科棟)	1	1						縄文後期～弥生前期	6
事	〃	津島土生 (外国人宿舎)	1	1						縄文～中世	8
理	〃	津島北 (身障者用エレベーター)	0.3	0.3						中・近世	〃
教養	〃	津島南 ()	0.7	0.7						縄文・中世	〃
工	〃	津島北 (校舎)	1	1						縄文～近世	11
農業	〃	津島南 (動物・遺伝子実験施設)	0.7	0.7						縄文～弥生、中・近世	〃
事	〃	津島南 (国際交流会館)	0.3	0.3						中世	〃
大自	〃	津島北 (合併処理槽)	0.2	0.2						中・近世	14
学生	〃	津島南 (学生合宿所)	0.4	0.2					0.2	中世	〃
教育	〃	津島北 (身障者用エレベーター)	0.3	0.3						縄文	〃
図	〃	津島北 (図書館)	0.8	0.8						古墳～中世	〃
学生	〃	津島南 (学生合宿所ポンプ槽)	0.4	0.4						縄文～中世	18
資生	〃	倉敷 (資源生物科学研究所)	0.1	0.1						近世	〃
ア	〃	鹿田 (アイソトープ総合センター)	1	1						中世～近世	〃
事	〃	津島北 (福利厚生施設)	0.5	0.5						弥生?～中世	〃
農	〃	津島南 (動物実験施設)	0.1	0.1						縄文?～近世	33
環	〃	津島北 (環境理工Ⅱ期)	0.1	0.1						—	53
工	〃	津島北 (システム工学科棟)	0.1	0.1						—	53
教育	〃	東山 (附属小学校校舎)	1.1	0.1					1		87
全	立会	83年度	2	2						分銅形土製品	1
〃	〃	84年度	1	1						—	2
〃	〃	85年度	1	1						—	3
〃	〃	86年度	0.5	0.5						—	6
〃	〃	87年度	0.5	0.5						—	8
	分布	89年度三朝・本島	0.3	0.3						—	14
全	立会	91年度92年度	0.3	0.3						—	21・25

所属	種類	調査名・地区名	箱 数 (1箱:約30リットル)							備 考 (主要時期・特殊遺物)	文献
			総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	サンプル*		
全	立会	93年度～99年度	0.8	0.8						—	30・33・ 38・44・ 50・53・ 56
〃	〃	00年度	3	3						—	61
〃	〃	02年度	8.5	2.5	6					弥生早期土器、中世、礎石	71
〃	〃	03年度	2	2						—	74
〃	〃	04年度	1	1						—	81
〃	〃	05年度	1.1	0.1					1		83
〃	〃	06年度	1.1	0.1					1		87
〃	〃	07年度	0.5	0.5							本紀要
総 箱 数			3058.4	2133.1	99.7	469.2	25	18.1	313.3		

付表4 埋蔵文化財調査室刊行物

番号	名 称	発行年月日
1	岡山大学構内遺跡調査研究年報1 1983年度	1985年2月
2	岡山大学構内遺跡調査研究年報2 1984年度	1985年3月
3	岡山大学津島地区小橋法目黒遺跡(AW14区)の発掘調査 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第1集	1985年5月
4	岡山大学津島地区構内遺跡発掘調査報告Ⅱ(農学部構内BH13区他) 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第2冊	1986年3月
5	岡山大学構内遺跡調査研究年報3 1985年度	1987年3月
6	岡山大学構内遺跡調査研究年報4 1986年度	1987年10月

付表5 埋蔵文化財調査研究センター刊行物 (2008年3月末まで)

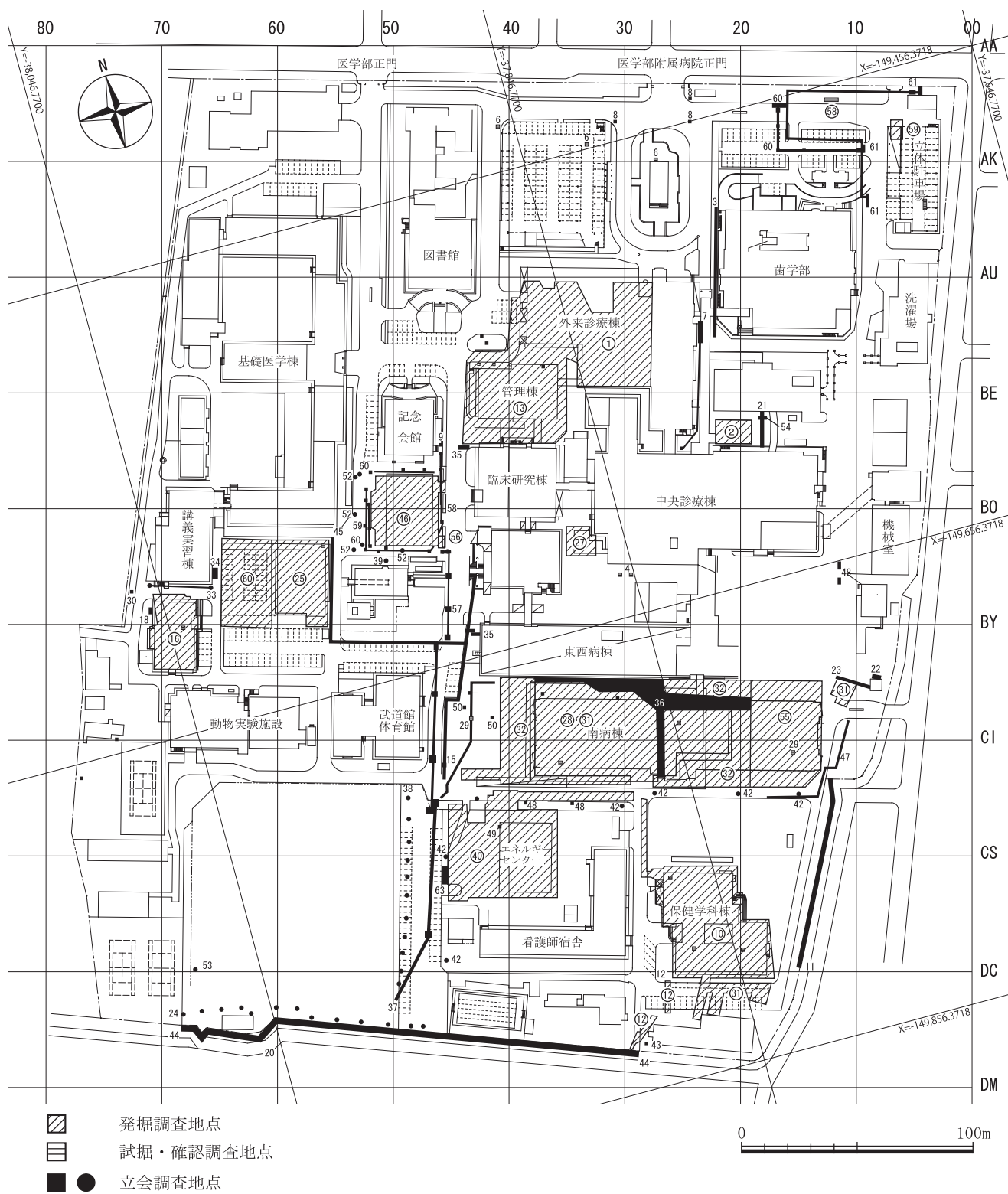
番号	名 称	発行年月日
7	鹿田遺跡Ⅰ 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第3冊	1988年3月
8	岡山大学構内遺跡調査研究年報5 1987年度	1988年10月
9	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第1号	1988年10月
10	鹿田遺跡Ⅱ 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第4冊	1990年3月
11	岡山大学構内遺跡調査研究年報6 1988年度	1989年10月
12	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第2号	1989年8月
13	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第3号	1990年2月
14	岡山大学構内遺跡調査研究年報7 1989年度	1990年11月
15	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第4号	1990年7月
16	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第5号	1991年3月
17	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第6号	1991年8月
18	岡山大学構内遺跡調査研究年報8 1990年度	1991年12月
19	津島岡大遺跡3 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第5冊	1992年3月
20	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第7号	1992年3月
21	岡山大学構内遺跡調査研究年報9 1991年度	1992年12月
22	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第8号	1992年8月
23	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第9号	1993年3月
24	鹿田遺跡3 岡山大学構内遺跡発掘調査報告第6冊	1993年3月
25	岡山大学構内遺跡調査研究年報 10 1992年度	1993年12月
26	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第10号	1993年11月
27	津島岡大遺跡4 岡山大学構内遺跡発掘調査報告第7冊	1994年3月
28	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第11号	1994年3月
29	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第12号	1994年10月
30	岡山大学構内遺跡調査研究年報 11 1993年度	1995年2月
31	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第13号	1995年3月
32	津島岡大遺跡5 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第8冊	1995年3月
33	岡山大学構内遺跡調査研究年報 12 1994年度	1995年12月
34	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第14号	1995年10月
35	津島岡大遺跡6 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第9冊	1995年12月
36	津島岡大遺跡7 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第10冊	1996年2月
37	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第15号	1996年3月
38	岡山大学構内遺跡調査研究年報 13 1995年度	1996年10月
39	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第16号	1996年10月
40	鹿田遺跡4 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第11冊	1997年3月

番号	名 称	発行年月日
41	津島岡大遺跡8 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第12冊	1997年3月
42	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第17号	1997年3月
43	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第18号	1997年9月
44	岡山大学構内遺跡調査研究年報 14 1996年度	1997年11月
45	今、よみがえる古代 岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの10年	1997年11月
46	津島岡大遺跡9 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第13冊	1997年12月
47	津島岡大遺跡10 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第14冊	1998年3月
48	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第19号	1998年3月
49	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第20号	1998年10月
50	岡山大学構内遺跡調査研究年報 15 1997年度	1999年1月
51	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第21号	1999年3月
52	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第22号	1999年9月
53	岡山大学構内遺跡調査研究年報 16 1998年度	2000年1月
54	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第23号	2000年3月
55	福呂遺跡I 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第15冊	2000年3月
56	岡山大学構内遺跡調査研究年報 17 1999年度	2000年8月
57	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第24号	2000年9月
58	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価・外部評価報告書	2000年12月
59	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第25号	2001年3月
60	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第26号	2001年8月
61	岡山大学構内遺跡調査研究年報 18 2000年度	2001年10月
62	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第27号	2002年3月
63	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第28号	2002年9月
64	津島岡大遺跡11 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第16冊	2003年3月
65	津島岡大遺跡12 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第17冊	2003年3月
66	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2001	2003年3月
67	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第29号	2003年3月
68	津島岡大遺跡13 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第18冊	2003年5月
69	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第30号	2003年8月
70	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第31号	2004年2月
71	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2002	2004年3月
72	津島岡大遺跡14 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第19冊	2004年3月
73	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第32号	2004年9月
74	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2003	2004年12月
75	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第33号	2005年3月
76	津島岡大遺跡15 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第20冊	2005年3月
77	津島岡大遺跡16 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第21冊	2005年3月
78	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第34号	2005年10月
79	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第35号	2006年3月
80	津島岡大遺跡17 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第22冊	2006年3月
81	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2004	2006年3月
82	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第36号	2006年10月
83	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2005	2007年3月
84	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第37号	2007年3月
85	鹿田遺跡5 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第23冊	2007年3月
86	津島岡大遺跡18 岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第24冊	2008年3月
87	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2006	2008年3月
88	岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの20年ー自然と人間、地中に埋もれた命の対話ー	2008年3月



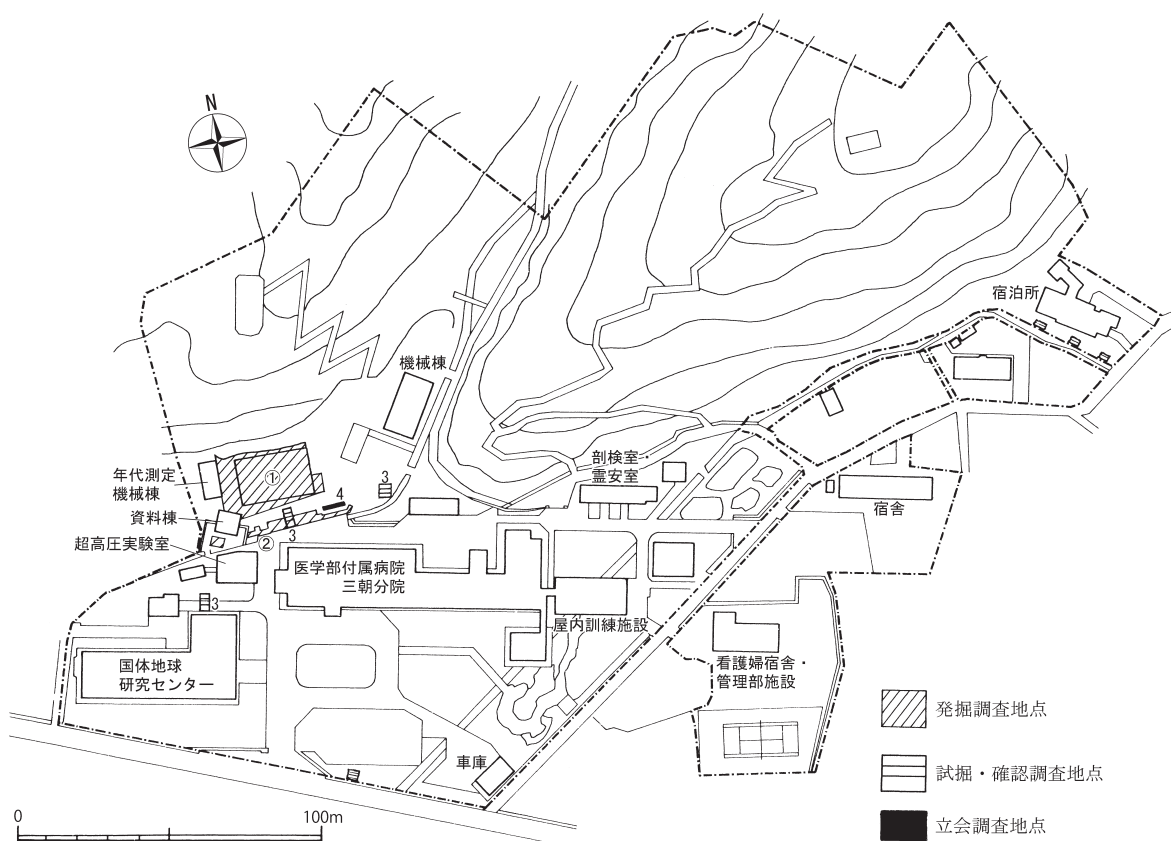
※番号は付表2の総合番号に対応する。

付図1 2006年度までの調査地点【1】一津島地区一（縮尺1/4,000）

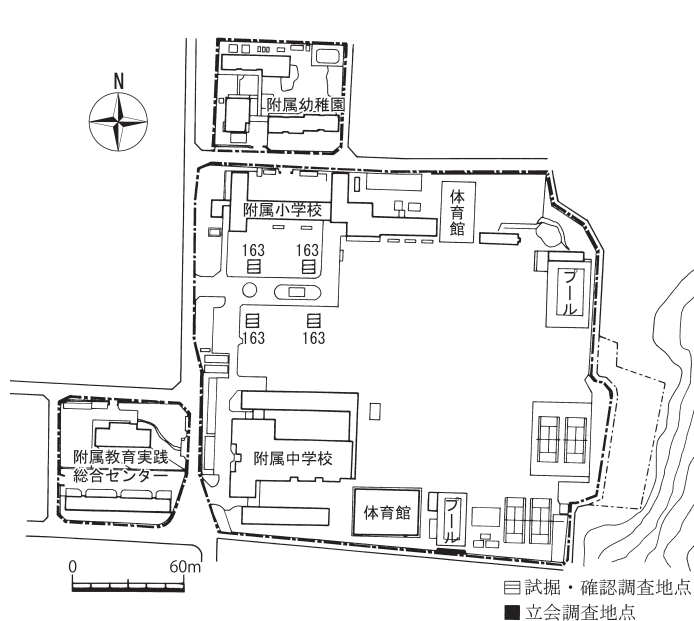


※番号は付表2の総合番号に対応する。

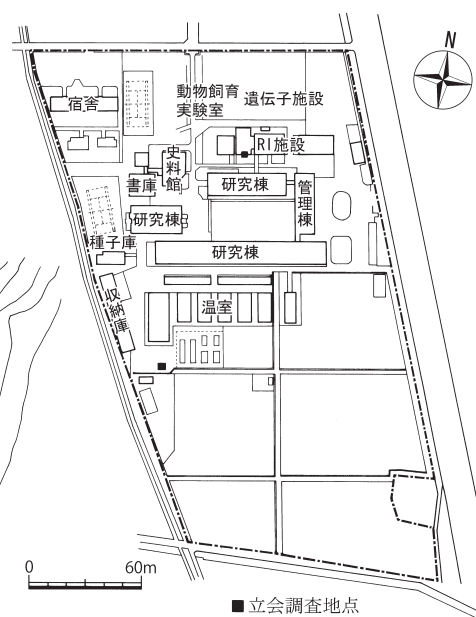
付図2 2006年度までの調査地点【2】—鹿田地区— (縮尺 1/2,500)



付図3 2006年度までの調査地点【3】
—三朝地区— (縮尺 1/2,500)



付図4 2006年度までの調査地点【4】
—東山地区— (縮尺 1/4,000)



付図5 2006年度までの調査地点【5】
—倉敷地区— (縮尺 1/4,000)